

稲荷前古墳群(横浜市)

前方の木々の上に稲荷前古墳群が展開している



アップで見たところ



県道側からの階段は工事のため、この坂を登って反対側からアクセスする



この右上に稲荷前古墳群があるようだ



正面の階段を登る



階段を登り切るとマウンドが見えて来る



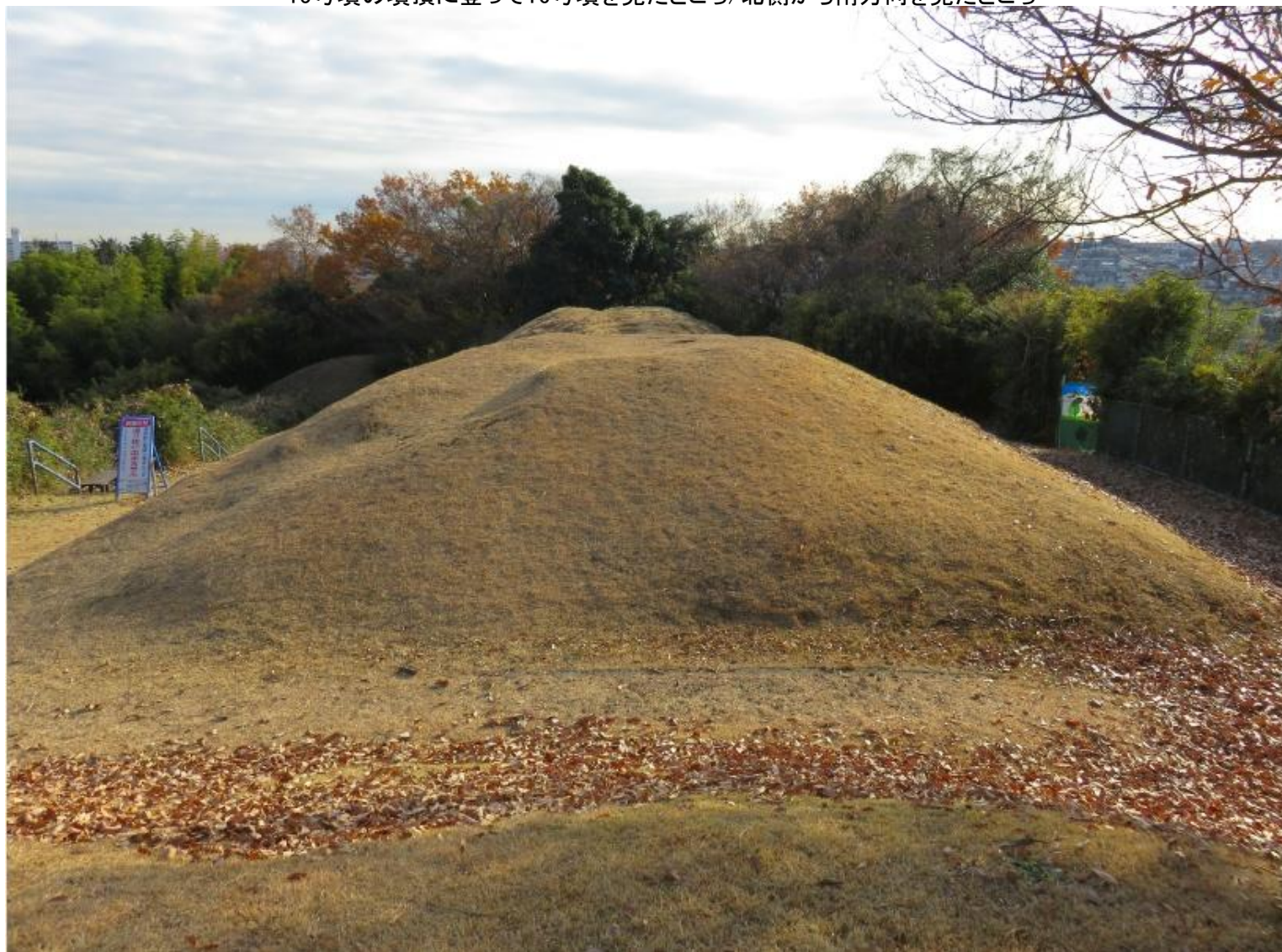
右手の15号墳/方墳/左手の16号墳(4世紀後半の築造)より新しい時期の築造と云う



左手を見るとこれが16号墳/前方後方墳/手前が前方部、奥が後方部/4世紀後半の築造



15号墳の墳頂に登って16号墳を見たところ/北側から南方向を見たところ



そこで北東方向を見たところ/住宅がビッシリ



16号墳/前方部から後円部を見たところ



左下から見たところ



右下から見たところ



前方部からくびれ部とその先の後方部を見たところ/左奥に17号墳が見える



そこで左手を見たところ/奥が17号墳



同じく右手を見たところ/右下に説明坂がある



◆ 稲荷前古墳群15号・16号・17号墳 ◆

稲荷前古墳群は、昭和12年・13年に発掘調査が行われました。稲荷前古墳・稲荷前古墳・西谷などのさまざまな形をした10基の古墳とさまざまな形の古墳が発見されたことから、「古墳の博物館」とも呼ばれました。

このうち、15・16・17号墳の3基の古墳が保存され、昭和13年に発掘調査されました。

これらの古墳は、昭和37年に保存整備事業に伴う発掘調査が実施されました。その結果、16号墳は、事実は不明しい前古墳と推定される墳形の特徴があることが明らかになりました。この前古墳の特徴は、正方形をした土の墳丘を掘削してつくられた土室と、土室の周囲に築かれた土室の壁が確認されています。また、周囲には15号・17号の古墳が確認されています。

墳丘の上および周囲からは、灰餅に紅をあげた土器や土器の破片が確認されています。

また、灰餅が確認されており、埋蔵された土器の中から、土器の破片が確認されています。

特に、出土したこれらの土器から、この16号墳は、1世紀後半につくられた事実は最も古い特徴の古墳の一つであることがわかりました。

15号墳は、16号墳の北側に隣接しており、すでに墳丘の大部分が削られていたことが確認されており、一辺約10mの方形の墳丘であることがわかりました。また、墳丘の切り合いから16号墳より新しい時期に造られたことがわかります。現在は、墳丘を復元しています。

17号墳は、調査の結果、16号墳と同様に土室の墓土で造られていることがわかりました。その築造方法から16号墳との関係が考えられます。

平成9年3月

横浜市教育委員会



▲16号墳出土土器



▲16号墳遺跡出土土器



16号墳の平面図



◆ 稲荷川中・土器地の古墳群 ◆



古墳群の位置

稲荷前古墳群15号・16号・17号墳

稲荷前古墳群は、昭和12年・11年に発掘調査が行われました。前方後円墳・前方後方墳・方墳・円墳などのさまざまな形をした10基の古墳と9基の横穴墓が発見されたことから、「古墳の博物館」とも呼ばれました。

このうち、15・16・17号墳の3基の古墳が保存され、昭和15年に県史跡に指定されました。

これらの古墳は、昭和57年に保存整備事業に伴う発掘調査が一部行われました。その結果、16号墳は、市域でも珍しい前方後方墳と呼ばれる墳形の古墳であることが明らかになりました。この前方後方墳は、正方形をした2つの墳丘を楕形をしたくびれ部で連結をした特異な形のもので、全長37.5m・後方部幅15.5m・前方部幅14.0m・くびれ部幅10.0～11.5mを測っています。また、周囲には幅1.2～1.4mを測る周溝が確認されています。

墳丘の上および周辺からは、底部に孔をあけた壺形土器や器台な

どか、8個体発見されており、墳丘を作った当時に使われた何らかの祭祀に伴う供献土器であることが考えられます。

そして、出土したこれらの遺物から、この16号墳は、1世紀後半につくられた市域でも最も古い時期の古墳の一つであることがわかりました。

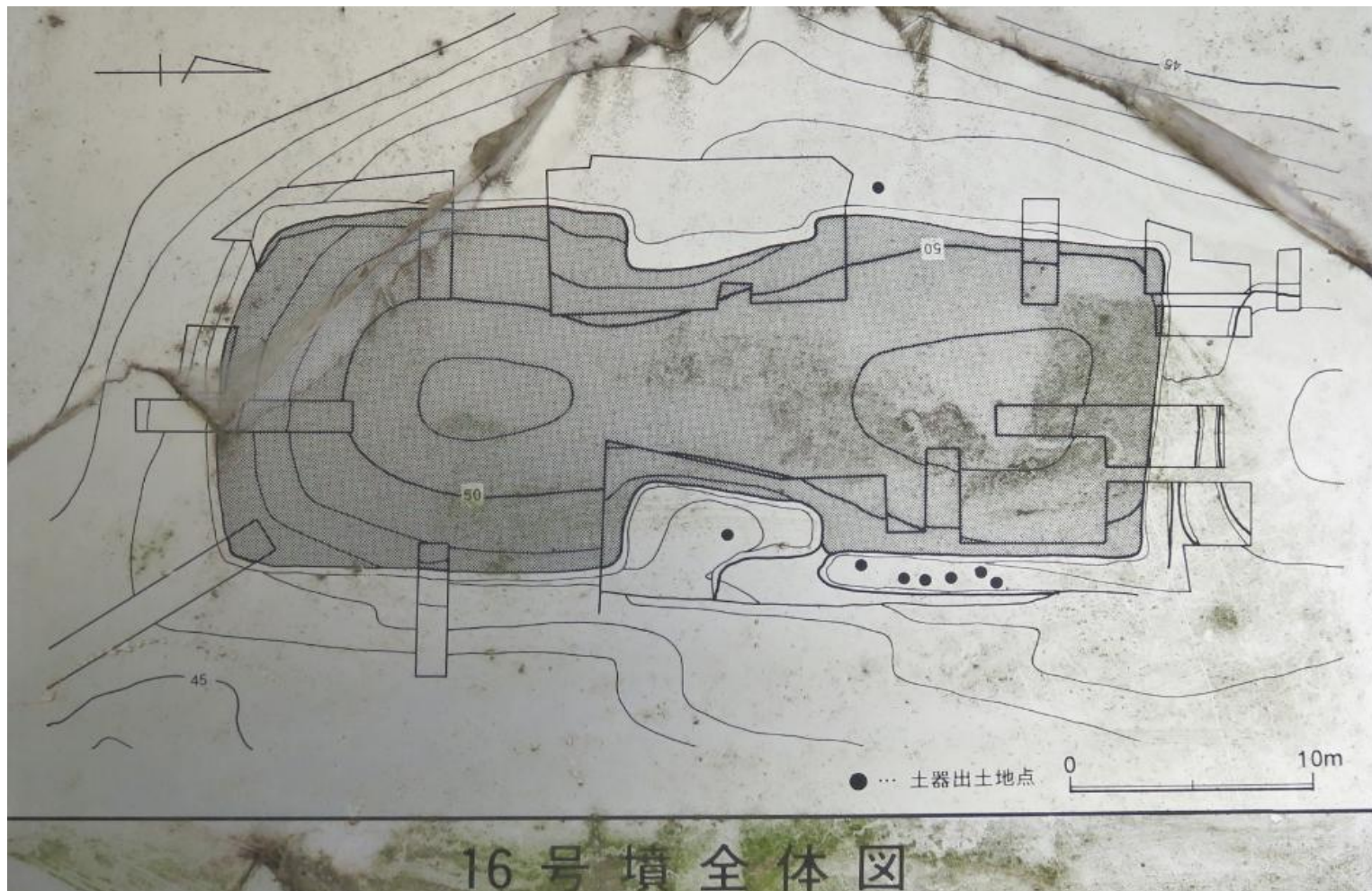
15号墳は、16号墳の北側に隣接しており、すでに墳丘の大部分が削平されているか基部が残存しており、一辺約12mを測る方墳であることがわかりました。また、周溝の切り合いから16号墳より新しい時期に造られたことがわかります。現在は、墳丘を復元しています。

17号墳は、調査の結果、16号墳と同様に大量の盛土で造られている方墳であることがわかり、その築成方法から16号墳との関係が考えられます。

平成9年3月

横浜市教育委員会





16号墳全体図



▲16号墳 出土土器



▲16号墳 遺物出土状態

古墳群 年代	市ヶ尾古墳群 (青葉区大塚・市ヶ尾)	王禅寺古墳群 (川崎市麻生区)	新治古墳群 (緑区十日市場・新治)	荏田古墳群 (青葉区あざみ野・荏田)	新羽・大熊古墳群 (都筑区仲町台・港北区新羽)	鴨居古墳群 (緑区鴨居)
400	稲荷前6・16号墳 *青葉区大塚			虚空蔵山古墳 *青葉区荏田 観福寺裏古墳 *青葉区荏田		
	稲荷前1号墳 *青葉区大塚			観福寺北古墳群 *青葉区荏田		
450	朝光寺原1号墳 *青葉区市ヶ尾			赤田4号墳 *青葉区あざみ野	上の山4号墳 上の山3号墳 上の山2号墳 上の山1号墳 *都筑区仲町台	
	朝光寺原2号墳			矢崎山古墳 *都筑区荏田南		
500	稲荷前5号墳					
	朝光寺原3号墳					
	稲荷前5号墳					
550					新羽第13古墳群 *港北区新羽	鴨居原古墳 *緑区鴨居
	稲荷前14号墳		三保杉沢古墳 *緑区三保	赤田2号墳		松葉古墳 *緑区鴨居
600	稲荷前13号墳		北門1~4号墳 *緑区十日市場	赤田1号墳	(横穴墓)	殿谷古墳 *緑区鴨居
		下麻生1・2号墳 亀井古墳群	(横穴墓)	赤田3号墳		(横穴墓)
650	(横穴墓)	(横穴墓)		(横穴墓)		

◆ 鶴見川中・上流域の古墳編年 ◆

説明坂の辺りから西方向を見たところ



振り返って東方向を見たところ/ここが丁度くびれ部



さて、これは後方部からくびれ部とその先の前方部を見たところ



そこで左手を見たところ



同じく右手を見たところ



これは前方部から15号墳を見たところ



これは後方部から17号墳を見たところ



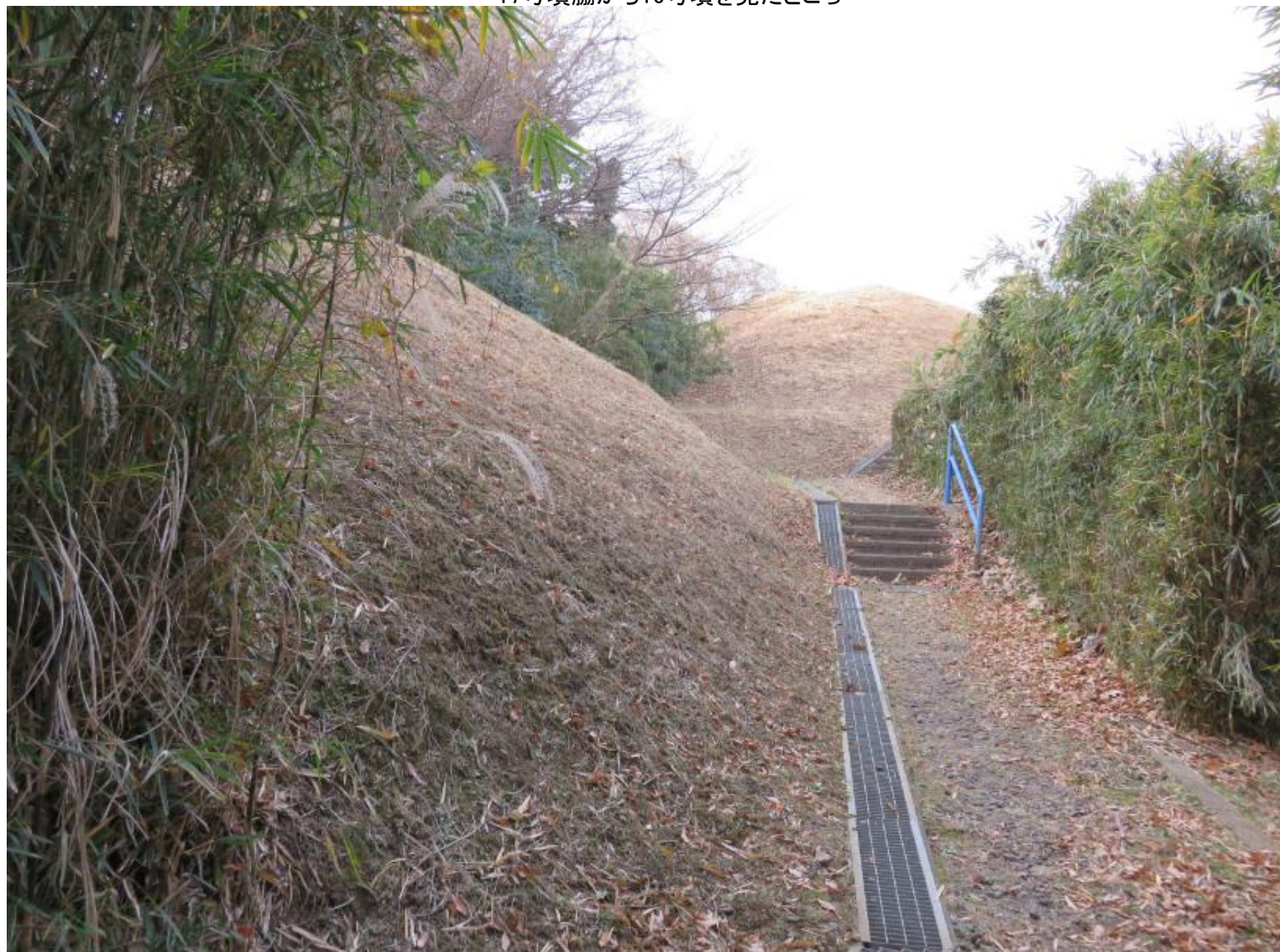
左手に下りて17号墳に近寄って見たところ



これが17号墳/方墳/16号墳(4世紀後半の築造)と同時期の築造とされる



17号墳脇から16号墳を見たところ



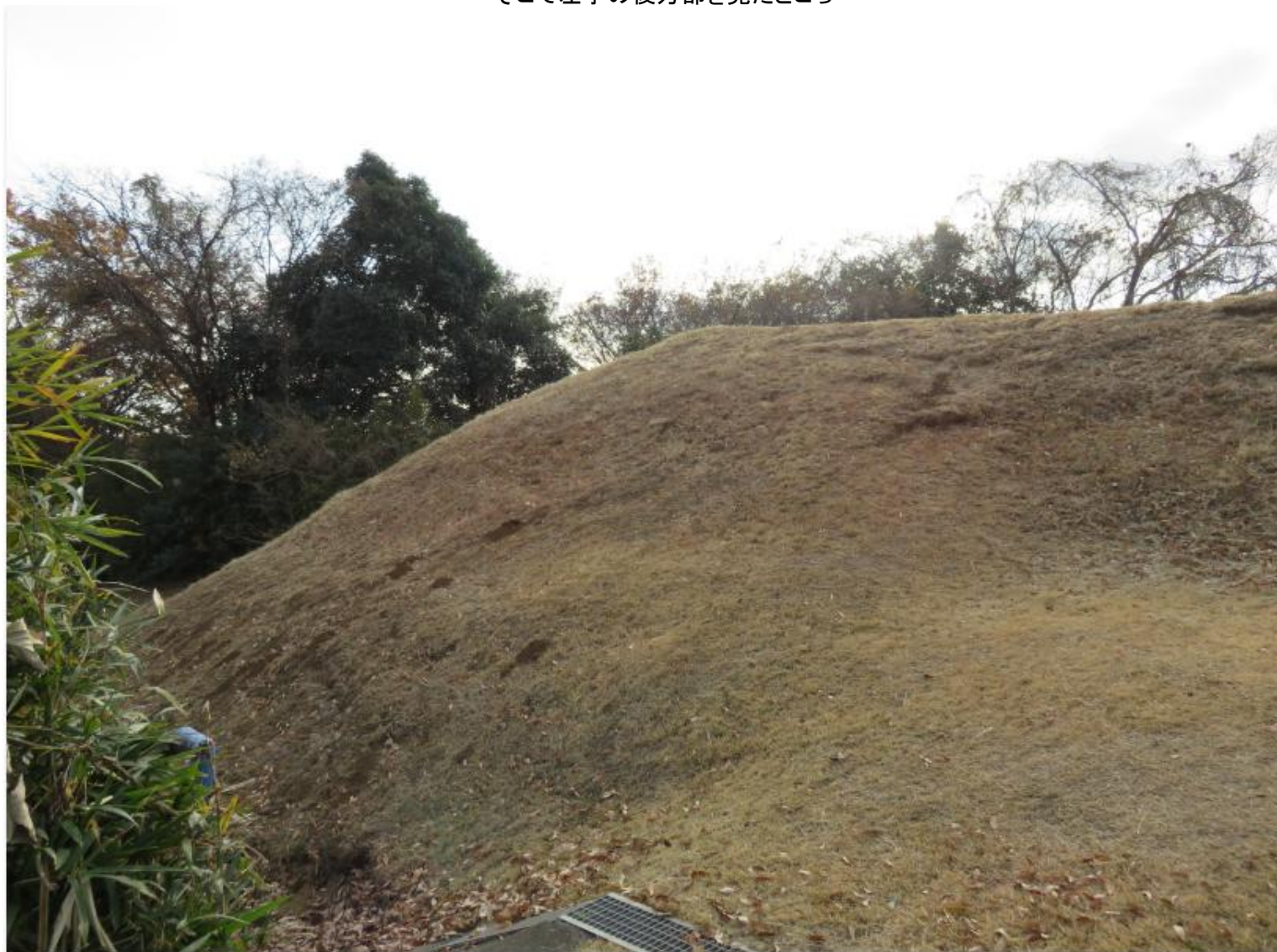
16号墳を後方部脇から前方部方向に見たところ



そこからくびれ部を見たところ



そこで左手の後方部を見たところ



同じく右手の前方部を見たところ



参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/yokohama_inari/

<https://4travel.jp/travelogue/10743549>

<http://www.natsuzora.com/may/town/inarimaekofun.html>

<http://massneko.hatenablog.com/entry/2013/06/04/154931>

<http://theyokohamastandard.jp/article-8360/>

https://blog.goo.ne.jp/tommz_1938/e/6427845264b261e7fecc3c59f34be520

<https://ameblo.jp/fookky/entry-12336130729.html>

<https://history.ukinedori.com/2012/12/%E7%A8%B2%E8%8D%B7%E5%89%8D%E5%8F%A4%E5%A2%B3%E7%BE%A4.html>

